

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	円町まぶね隣保園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 27 年 1 2 月 2 2 日

総 評	<p>円町まぶね隣保園は1943年に開園された歴史ある保育園です。2010年には、運営母体を「社会福祉法人コイノニア福祉会」に移管しています。創設以来、キリスト教奉仕精神に則った法人理念をもとに、キリスト教保育を通して信頼や感謝の心を育てています。園舎は静かな住宅地にあり、周辺にはお寺や公園や川があり、四季折々の自然に触れられる環境にあります。</p> <p>園内は家庭的な雰囲気、可動式家具等を利用して保育室を有効活用しています。</p> <p>職員間の連携が図られており、園長・主任保育士を中心として職員全体で子どもたちの保育に取り組んでいます。</p> <p>また、給食は、子どもたちが、食材の皮むきや種取りなどの手伝いで食材に触れるなど、食事を楽しむことのできる工夫がされており、四季折々の食材が取り入れられています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の掲示や職員会議等を利用して、保護者や職員に対して園の方針を周知させる取り組みがなされています。 ・ブログやホームページ等を通して、園の取り組みを保護者や地域に向けて発信されています。 ・給食室と連携してクッキング等の食育活動にも熱心に取り組んでおり、給食の献立も季節の食材が吟味されています。 ・園全体の自己評価を実施し、保育の質の向上や改善に活かしています。職員の自己評価も定期的に取り組まれています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が意識して研修に参加できるよう簡単なもので良いので職員の経験年数や職務内容に応じて個別の研修計画を策定し、その評価・見直しを実施されるとより良いでしょう。 ・不審者侵入防止マニュアルは整備されていますが、発生時における対応方法を職員間で検討・共有化されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

【保育所版】 評価結果対比シート

受診施設	円町まぶね隣保園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成27年12月22日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	—	—
	I-2-2 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	B	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

【自由記述欄】

- ・ 保育園の理念・保育の基本指針・保育目標が、園内に掲示している他、園の「要覧」にも記載されており、広く公開しています。
- ・ 毎月の職員会議において、月刊誌「キリスト教保育」の重要箇所を職員全員で読むことで、キリスト教保育の理念の浸透を図っています。
- ・ 毎年4月のクラス懇談や入園説明会において、園の保育方針を園長が保護者に対して説明し、保育課程の内容の周知を図っています。
- ・ 保育課程や年間指導計画、短期指導計画等が整備され、整合性が図られています。
- ・ 年度初めに保育課程・年間計画について組織的に見直しを行っています。
- ・ 保育課程は、年度末に保護者へのアンケート実施など、地域の実態や保護者の意向等が反映されるよう取り組み、編成しています。
- ・ 園規則の中で管理者の責任について明記し、日々の業務や会議の中でも明らかにしています。
- ・ 管理者は、法令順守に関する研修や勉強会に参加し、正しく理解するための取り組みを行っています。
- ・ 管理者は、随時「管理委員会」を開催し（園長・主任参加）、保育サービスの質の向上に向けた取り組みを進めています。今後は、法人と連携を図り環境整備等を実施するなど、施設活用の効率化などに取り組むとより良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	B	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	A

[自由記述欄]

- ・園長は、国や京都市保育課、京都市保育園連盟、法人から出される情報などにより事業経営をとりまく環境を把握し、その改善に努めています。
- ・園長は、人員体制に対する計画や、それに応じて必要な人材や職員配置を明示し、それに基づいて園運営を行っています。
- ・園長は、次年度に向けて年に2回職員との面談を行い、職員の意向把握に努めています。
- ・全職員に対しインフルエンザ予防接種を実施（費用は園負担）するなど、職員の福利厚生・健康の維持に取り組んでいます。
- ・職員の教育研修の基本姿勢が明示され、それに基づき研修を実施しています。園外研修にも積極的に参加しています。今後は、職員が意識して研修に参加できるよう簡単なもので良いので職員の経験年数や職務内容に応じて個別の研修計画を策定し、その評価・見直しを実施されるとより良いでしょう。
- ・地域交流会を開き、地域の方と子どもが交流する機会を持つなど、地域との関わりを大切にしています。
- ・実習に関するマニュアルが整備され、受入担当者を決めた上で計画的に指導しています。
- ・効果的な実習となるよう、詳細なプログラムを策定し、実習生の育成に取り組んでいます。
- ・広く情報公開を行うためのホームページのリニューアルや、園見学や園庭開放に來られた方への子育て相談など、事業所が有する機能を地域に還元できるよう努めています。
- ・必要な関係機関や団体の連絡先は、職員がいつでも確認できるよう明示されています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	B	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

【自由記述欄】

・子どものプライバシー保護についての規程やマニュアルを整備し、すべての職員に個人情報の取り扱いについての契約書を取り、周知しています。

・苦情解決の仕組みを整備し、意見箱や保護者からの意見・苦情に対しては迅速にフィードバックし、職員間では苦情委員会や全体会議で周知しています。

・園全体の自己評価を実施し、保育の質の向上や改善に活かしています。職員の自己評価も定期的に取り組んでいます。今後は、前回の第三者評価の結果を活かし改善を図られるとなお良いでしょう。

・子どもの状況等について、ケース会議を通して職員間で情報を共有し、日々の連絡や申し送り事項については、職員が共有しているノートに書き込み全職員に周知しています。

・利用希望者に対して、園のパンフレットやホームページ等で情報を提供しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	B
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

- ・ 歯科健診の結果を保護者に伝え、職員間でも共有するようにしていますが、それぞれの子どもの状態に応じての対応が十分ではありません。今後は、歯科健診の結果を子どもの状態に応じて反映するよう取り組まれるとより良いでしょう。
- ・ 子どもの食生活を充実させるため、試食会の開催や給食レシピの配布など、家庭と連携しています。

- ・保育室は限られた環境の中、保育家具や部屋の使い方を工夫し、生活の場に相応しい環境作りをしています。今後は、子どもの興味・関心に応じ、色々な楽器を楽しめるよう工夫されるとより良いでしょう。
- ・職員に対して人権研修を行い、子どもの人権に配慮した保育を心がけています。
- ・各部屋には手作りの大型玩具（階段、すべり台など）があり、子どもが心地よく活動できる環境を整えています。今後は、施設や遊具の安全点検を定期的の実施されるとより良いでしょう。
- ・外あそび後に手や足を洗う習慣が身についており、職員は一人ひとりに声をかけるなど丁寧な対応をしています。
- ・クッキングでは、園児一人ひとりに包丁などの使い方を丁寧に教え、保育士と一緒に楽しい雰囲気で行っています。
- ・給食は子どもたちが、食材の皮むきや種取りなどの手伝いで食材に触れるなど、食事を楽しむことのできる工夫をし、季節の食材に触れる機会を設けています。
- ・感染症発生時には、保護者にわかるように玄関に掲示し周知しています。
- ・長時間にわたる保育に配慮し、くつろぐことが出来る環境を整備し家庭的な雰囲気を大切にしています。
- ・障害児保育については、保護者や関係機関と連携を取り、それぞれの特性に合わせた生活の仕方を計画し、個別に対応しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている		

【自由記述欄】

- ・送迎時や連絡帳を通して保護者と日常の情報交換を行っています。また、家庭訪問や個人面談を行いそれらの記録を個人記録に残しています。
- ・虐待について、早期発見・対応については、関係機関と適切に連携をとっています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	B
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

【自由記述欄】

- ・衛生管理マニュアル、食中毒に対応するマニュアルも整備し見直しも行っていきます。今後は、それらのマニュアルの見直し時期を決められるとより良いでしょう。
- ・ヒヤリハットの記録を職員間で共有し、事故防止に努めています。また、事故や災害発生時のマニュアルが整備され職員に周知しています。
- ・不審者侵入防止マニュアルはありますが、発生時における対応方法を職員間で検討・共有されるとなお良いでしょう。